

(振興局調整費)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主体	事 業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び 取組方向
総務企画部	畠山義人	地域企画課	企画・鳥海 まるっと観 光班	今野武俊	0184-22- 5432	県際間連携による新潟・ 庄内DC観光PR事業	山形県庄内地方と連携し 環鳥海地域のPRを実施し ているが、R元年度にJR グループによる「新潟県・ 庄内エリア デスティネー ションキャンペーン」が行 われ、PRの機会が増加し ていることから、この好機 を捉え、由利地域のPR活 動を強化し、誘客促進を 図る。	361,350	直営	・観光パンフレット「ゆり旅レシピ」増刷 ・海里列車でのPR (11月17日) ・県内、隣県観光施設等への配布	県	観光関係 者・観光客・ 旅行エー ジェント・地 域住民	令和元年10月30日	・増刷にあたり、QRコード を追加し、9月にリニュー アルした環鳥海地域のHP へリンクさせたり、パンフ レットに掲載している観光 地を動画でも見られるよう にしたことにより、パンフ レットの内容が充実し、旅 行者の利便性が向上し た。	・旅行者の観光情報の入 手方法は多様化してお り、情報発信方法の更な る見直しが必要である。
						令和元年11月1日～ 令和2年3月31日							令和2年5月19日		
福祉環境部	相澤 寛	健康・予防 課	健康・予防 班	斉藤 美春	0184-22- 4122	感染症予防対策推進事業	・平成30年度、結核集団 発生事例が発生したた め、結核の発病予防や早 期診断等の結核対策の推 進が必要である。 ・高齢者施設での感染症 集団発生を最小限とする ため、平常時からの衛生 管理の強化を図る。	116,041	直営	①結核対策研修会(11/22 医師等41名参加) ②第1回高齢者施設内ラウンド研修会(9/13 感染症対策リーダー等19名) ③第2回高齢者施設内ラウンド研修会(10/29 介護従事者等42人)	県	医療従事 者、高齢者 施設職員	令和元年7月30日	①実際の事例が多く、日 頃の診療に通ずる内容で あった。(今年度は集団感 染事例なし。)	①集団感染事例はなかつ たが、患者数は漸減のた め、今後も発見の遅れ等 ないように普及啓発が必 要である。
						令和元年8月1日～ 令和2年3月31日							令和2年5月19日	②③対象の背景にあった 内容で実施したこと で日々衛生管理を実施する 介護職にもポイントを効果 的に伝えられた。	②③今後も平常時からの 感染症対策については、 対象に合わせた内容で、 感染症流行期前に研修等 を実施していく。
農林部	佐藤尚志	森づくり推 進課	林業振興班	佐藤 博美	0184-22- 8351	由利工業高校と連携した 県民ホール木質化事業	由利工業高校建築学科の 生徒との連携により、県民 ホールの木質化を図り、 利用者が心地よくつろぐ ことができる空間整備と、 地域の高校生の技術披露 の場と機会を創出する。	116,740	直営	・県民ホール内に由利工業高校の生徒が製作 した地域産材を使用したテーブルとベンチを設 置し、県民ホール内の木質化を行った。	県	地域住民等	令和元年7月10日	・県民ホール内の木質化 をすることができた。	・今年度をもって県民ホー ルの木質化を終了するこ とができたので、今後は管 内の自治体等へ整備予定 の施設等で木質化ができ ないか、働きかけを行う。
						令和2年8月1日～ 令和2年3月31日							令和2年5月19日	・設置に当たり、お披露目 会を行い、製作した高校 生の技術を広く県民に披 露することができた。	
建設部	栗田 亨	企画・建設 課	企画監理班	川村 良幸	0184-22- 5436	由利地域の建設業担い手 確保育成事業	近年の建設投資の減少に 伴い、由利地域の社会基 盤を支えてきた地元建設 企業が疲弊するとともに、 就労環境の悪化等により、 業界へのイメージが悪 くなっている。それらにより 若年の入職者が減少して いるため、建設業のネガ ティブイメージを払拭し、 地元建設業の担い手を確 保・育成し、地元定住促進 に寄与する。	186,300	直営	建設業でも使用されるようになったドローンに ついて高校生を対象に操縦体験会を開催。ま たこれまで高校生のみだったが、より若いうち から建設業に興味をもってもらうため、中学生 向けの現場見学会を開催。建設業の魅力や 重要さを周知するとともに、土木建造物のPR を実施した。 ドローン体験会 令和元年9月13日 参加者 35名 中学校現場見学会 令和元年10月28日 参加者 24名	県	未来の建設 業の担い手	令和元年7月10日	高校生へのドローン操縦 体験による先進技術の体 験、中学生への現場見学 会などにより若い年代か ら建設業が身近にあるこ とを認識してもらえた。継 続的なPRにより若年者の 建設業界への興味関心、 地元定住意識の高まりが 期待される。	建設業の担い手確保・育 成に関する取り組みは、 継続的に実施する必要が あることから今後も推進事 業を継続する。
						令和2年8月1日～ 令和2年3月31日							令和2年5月19日		